



平成27年11月17日

会 社 名 株式会社テクノマセマティカル
(コード 3787: マザーズ)
住 所 東京都品川区西五反田二丁目12番19号
代 表 者 代表取締役社長 田 中 正 文
問 合 先 担当者 経営企画部 中 山
電 話 番 号 03-3492-3633

＜マザーズ＞ 投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○ 開催状況

開催日時 平成27年11月17日 15:00～16:00

開催方法 対面による実開催

開催場所 東京証券会館

東京都中央区日本橋茅場町1-5-8

説明会資料名 平成28年3月期＜第16期＞第2四半期決算説明会

【添付資料】

1. 投資に関する説明会において使用した資料

株式会社テクノマセマティカル

平成28年3月期＜第16期＞ 第2四半期決算説明会 資 料



平成27年11月17日

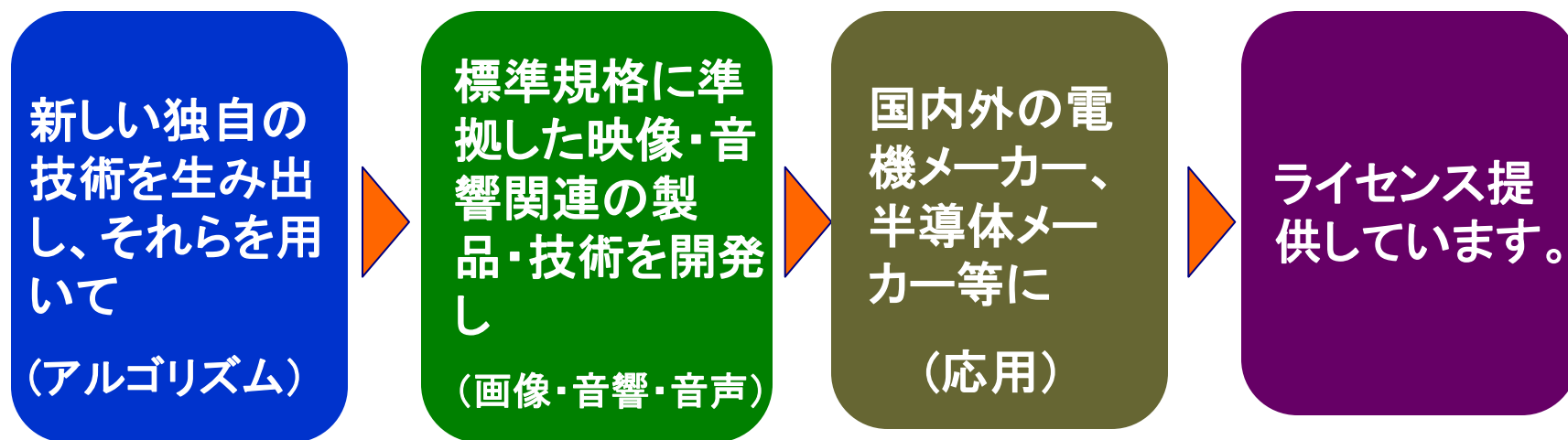
Agenda

1. 事業概要
2. 第2四半期決算の概要
3. 主要な売上指標の推移
4. 通期業績見通し
5. 平成28年3月期の課題と進捗
6. 当社技術のご紹介

本説明会および説明会資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づいて、当社が判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なることがありますことをご了承ください。

1-1 当社の基幹業務について

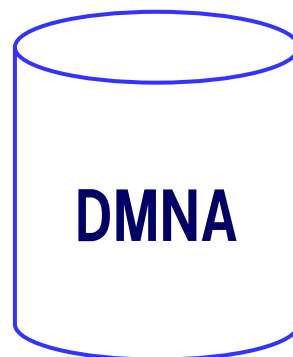


①高圧縮率、②高画質、③低消費電力量、④低遅延
を実現するデータ圧縮・伸張技術を開発、提供し続けます。

1-2 DMNAとは

<数学> 処理量削減

$$\left. \begin{array}{l} \text{Log } (f(x) + g(x)) \\ \sin f(x) \quad \frac{d}{dx} g(x) \\ \cos g(x) \\ \tan h(x) \\ z^{-1} \\ \int_a^b f(x) dx \\ \Sigma f(x) + g(x) \end{array} \right\}$$



簡単な数式に置換



+、-

<信号処理>

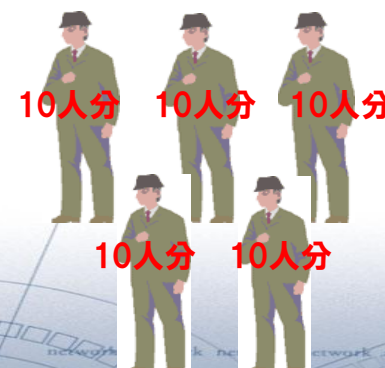
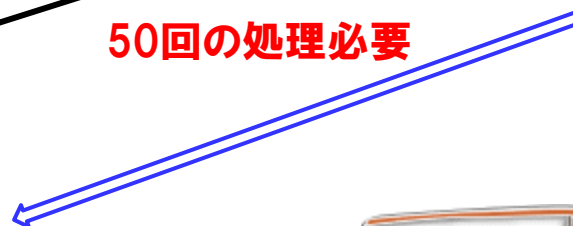
高速処理

消費エネルギー削減



1人分

50回の処理必要



10人分

10人分

10人分

10人分

10人分

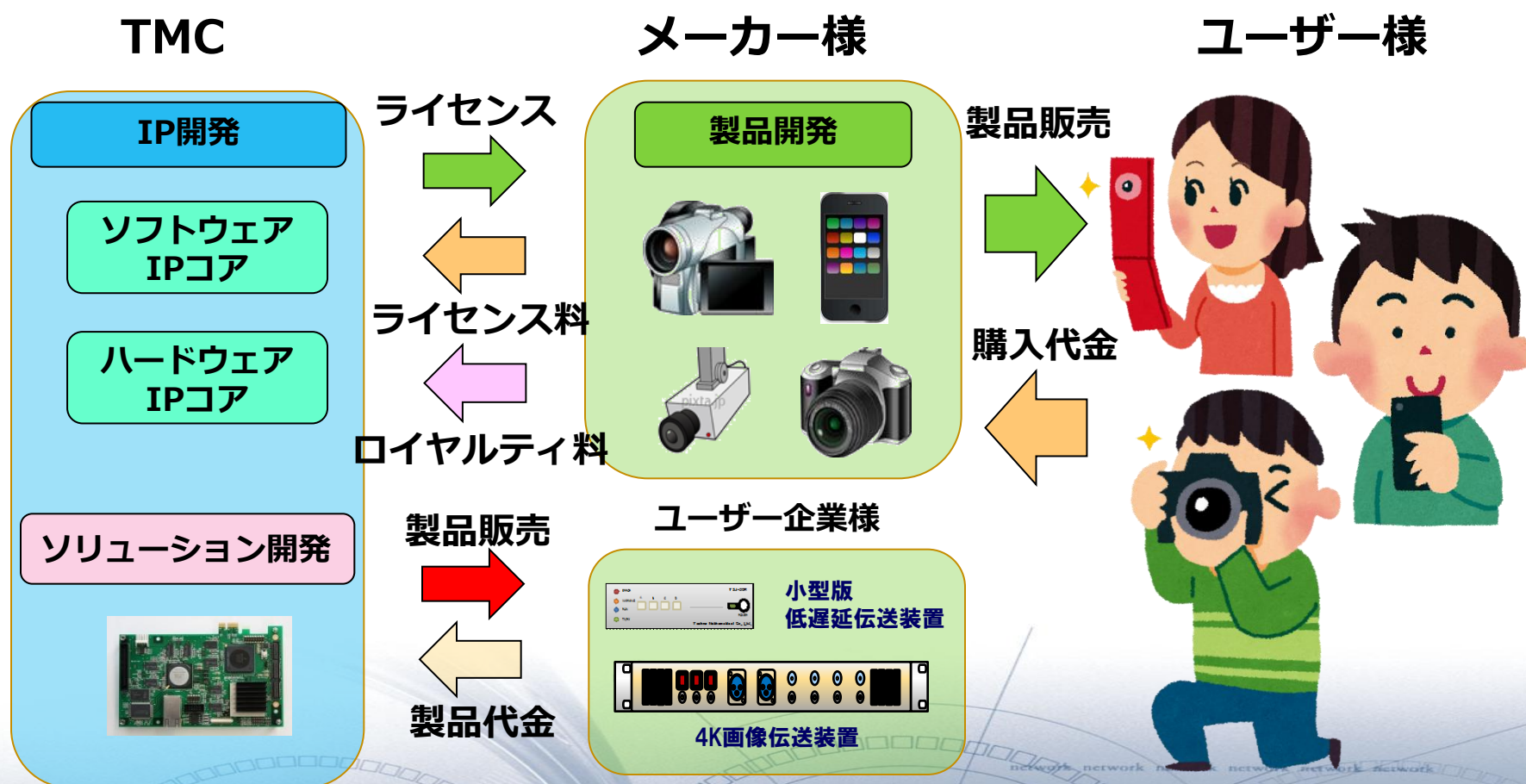
50人
輸送

一回で全演算を実行する



1-3 ビジネスモデル

テクノマセマティカルは独自のコンピュータアルゴリズム DMNAを用いて高品質・低消費電力のIP・ソリューションを開発し国内外のメーカー様等にライセンス提供または販売しております。



1-4 当社事業の特徴

1. 独自技術により差別化された製品

「DMNA」を核とした独自アルゴリズム



2. 利益逡増型の収益構造

ライセンス/ロイヤルティ・モデルを主体とした収益力

3. 全世界に展開可能

国際標準規格準拠、日本発の映像/音響製品

4. 事業領域拡大による収益力の向上

既存/新規の技術を応用したソリューション分野への展開

2-1 業績の推移

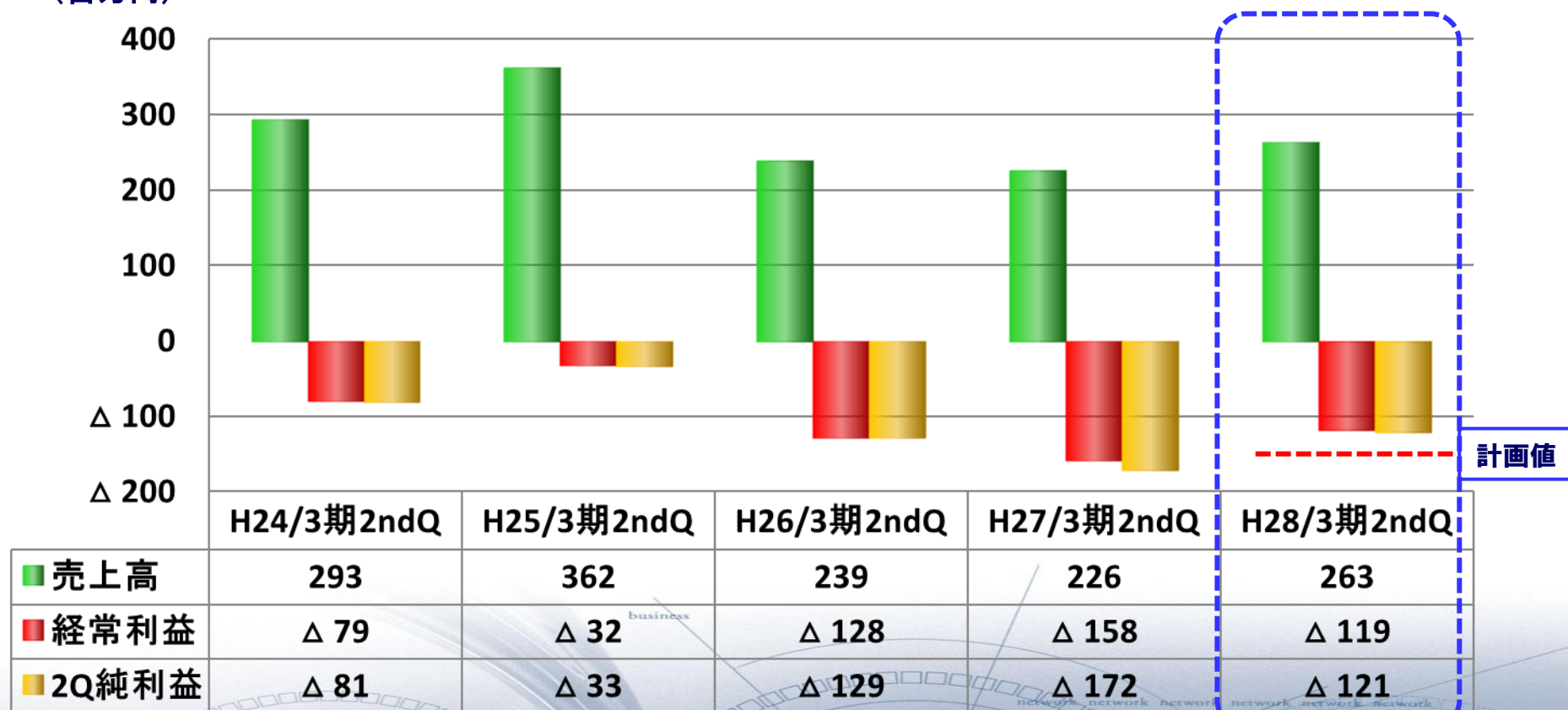
◆ 売上高 計画比43百万円超過

ソリューション案件増加、ロイヤルティ収入上振れが主な要因

◆ 損益面 増収分より上乗せ改善(約50百万円)

増収効果と各種経費圧縮策が奏功

(百万円)



2-2 損益計算書

(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(単位：百万円)	当第2四半期（累計） (H28/3期2ndQ)	構成比	対前年同期間 増減比	前年同期間 (H27/3期2ndQ)
売上高	263	100.0%	16.1%	226
売上総利益	214	81.6%	37.0%	156
販売管理費	335	127.3%	4.6%	320
営業利益	△120	△45.7%	—	△163
経常利益	△119	△45.5%	—	△158
四半期純利益	△121	△46.0%	—	△172

2-3 貸借対照表 (平成27年9月30日)

(単位:百万円)	H27/9末	構成比	対前期末比 増減	H27/3末
流動資産	2,020	71.4%	△ 879	2,900
固定資産	809	28.6%	741	67
資産合計	2,830	100.0%	△137	2,967
流動負債	76	2.7%	△ 15	92
固定負債	—	—	—	—
純 資 産	2,753	97.3%	△121	2,875

2-4 当初業績予想との差異について

(単位:百万円)	期初予想	実績	差異額	達成率
売上高	220	263	43	119.5%
経常利益	△171	△119	52	—
四半期純利益	△172	△121	50	—

プラス面

- ◆計画外のソリューション案件(合計15百万円)を獲得。
- ◆ランニングロイヤルティがソフトウェア、ハードウェアともに回復。
- ◆新しい国際標準規格H.265/HEVCの下期案件獲得へ向け商談進展。

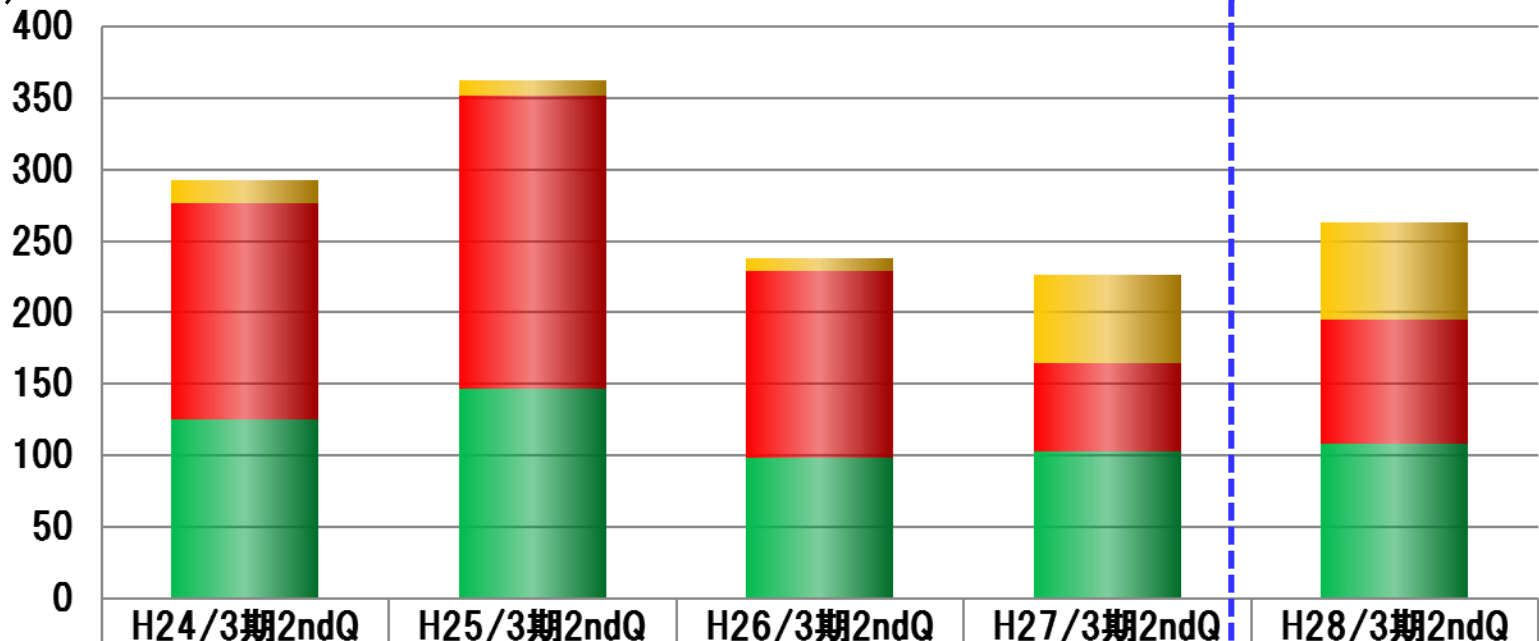
マイナス面

- ◆上期は海外案件獲得なし。
- ◆ソリューション製品(各種伝送装置)の販売に大きな進展なし。
- ◆既存IPのFPGA化ビジネスがほとんど未獲得。

3-1 売上の内訳(事業区分別)

- ◆ソフトウェアは前年同期間比5%増・・・車載向けワンセグ、ハンズフリー中心に堅調
- ◆ハードウェアは前年同期間比41%増・・・案件獲得に加え、ロイヤルティも回復
- ◆ソリューションは前年同期間比9%増・・・システム検証、ハードウェア機能追加、ドライバ開発獲得

(百万円)

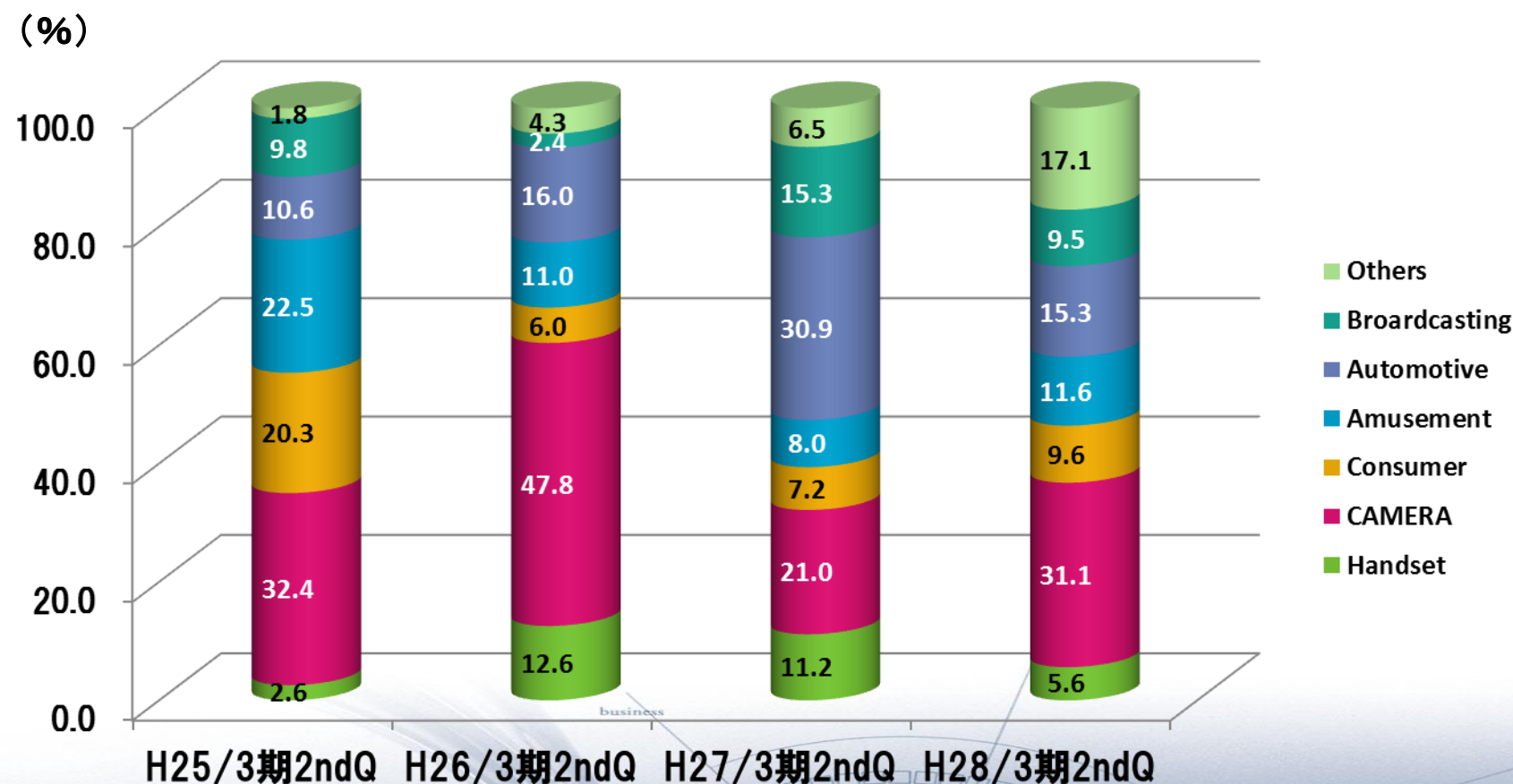


■ ソリューション	16	11	9	62	68
■ ハードウェア	151	205	131	61	86
■ ソフトウェア	125	146	98	103	108

3-2 売上の内訳(対象市場別)

◆デジカメ、アミューズメント向けのウェイト増加(新規案件&ロイヤルティ増加)。

◆その他ウェイト増加(特定顧客用途向けソリューション案件)。



4-1 H28/3期 通期業績見通し

(単位:百万円)

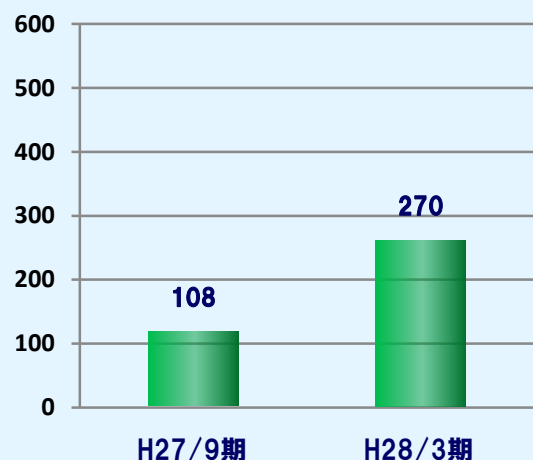
	通期予想	増減	増減率	前期実績
売上高	820	220	36.5%	600
経常利益	56	183	—	△127
当期純利益	47	190	—	△143

- ◆ ソフトウェアライセンス＝配信システム、携帯端末、車載ナビ向け中心に需要見込む
- ◆ ハードウェアライセンス＝ディスプレイ装置向け中心にH.265 4K/8K、固定長圧縮見込む
- ◆ ソリューション＝主として放送・通信分野をターゲットに展開、TM5184MJCを活用した配信システムも見込む

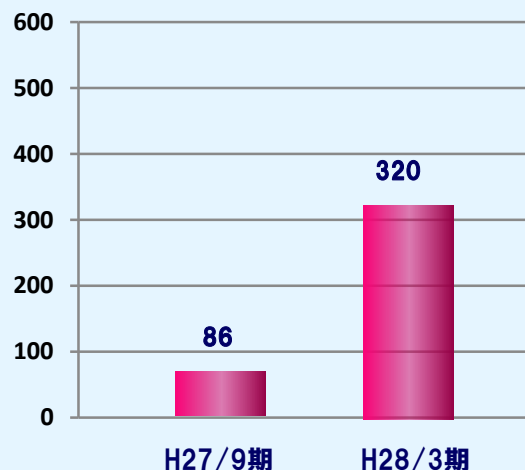
4-2 主な増減要因

＜売上高＞（単位：百万円、H28/3期は計画値）

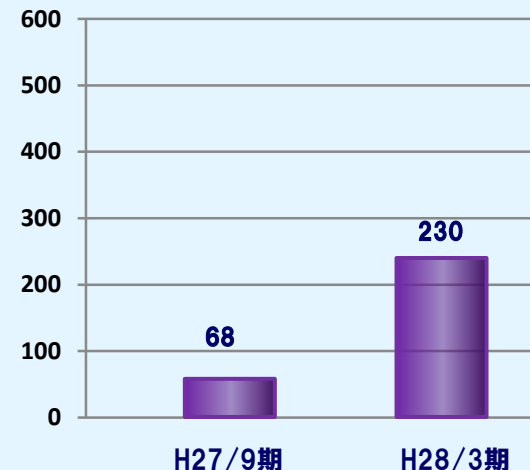
ソフトウェア事業



ハードウェア事業



ソリューション事業



- ・ **配信システム**関連でH.264/H.265等ビデオ関連は底堅い需要見込む
- ・ オーディオ、ボイス関連も**携帯端末**、**車載**向けに伸び見込む

- ・ **ディスプレイ装置**向けに固定長圧縮中心に復調を見込む
- ・ **4K/8K**案件獲得、**海外**案件の獲得目指す
- ・ **FPGA**向けも期待

- ・ **低遅延小型版装置**を中継用途/監視用途別にターゲットを選定して拡販
- ・ **TM5184MJC**（**H.264LSI**+CPU）で4K伝送、各種監視システム獲得見込む

5 平成28年3月期における課題と進捗

1. ソリューションビジネス立ち上げの技術課題
 - a. デバイスチップの基本技術開発
 - b. アプリケーションソフトウェア技術の確立
 - c. システム基本構成の開発

⇒ トランスコーダー開発(b)、小型版低遅延伝送装置機能強化(c)
2. 海外ビジネスの基盤強化と案件数拡大

⇒ 代理店活用(台湾・韓国)と欧米市場への展開(低遅延伝送装置)
3. 全部門の意識改革による黒字体質の構築

⇒ 月次進捗会議(営業)、工数管理の徹底(開発)を通じ意識改革を実施
4. 既存技術の高機能化・高性能化による差別化/優位性の維持・強化

⇒ H.264、MPEG-2中心にFPGAへの最適化

6-1 当社技術のご紹介(一部)

HEVC/H.265

□ 背景

デジタルハイビジョン放送における
大画面・高画質要求

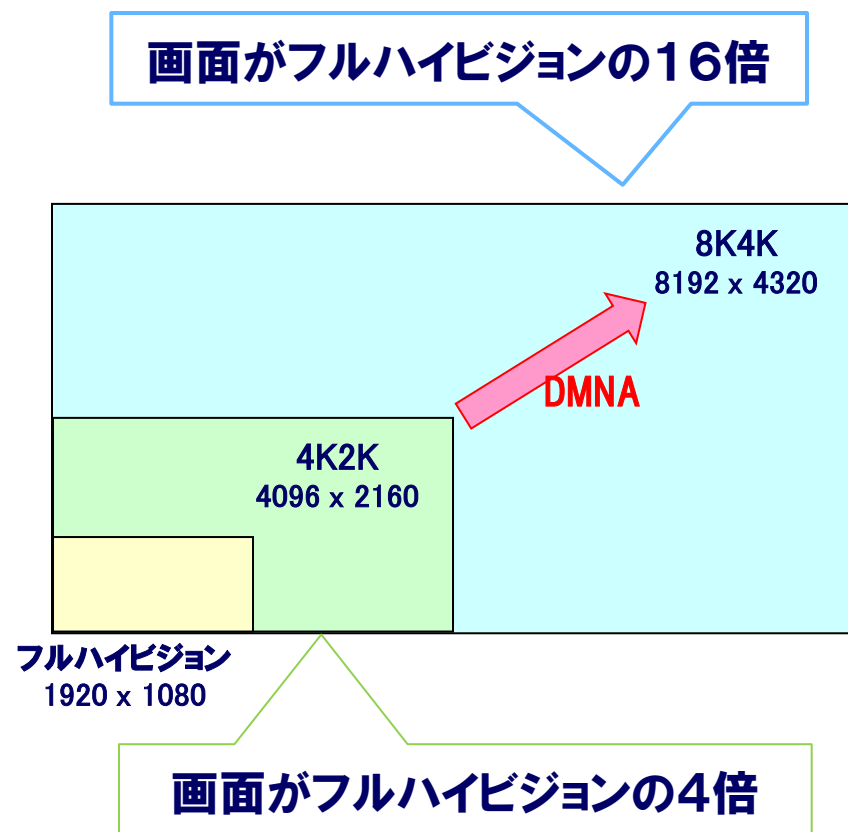
□ 最新の動画圧縮・伸張規格

「HEVC/H.265」

8K×4Kでは解決しなければならない技術
課題が数多くある。数学的手法を応用し
た独自のコンピュータアルゴリズム
「DMNA」で解決

高圧縮・高画質

大幅な回路規模削減、低消費電力化、低遅延化を実現



6-2 当社技術のご紹介(一部)

H.265/HEVC リアルタイム・エンコーダ／デコーダ・システムを商品化

- ・ソフトウェア
- ・4K画像 60フレーム/秒
- ・Main10プロファイル

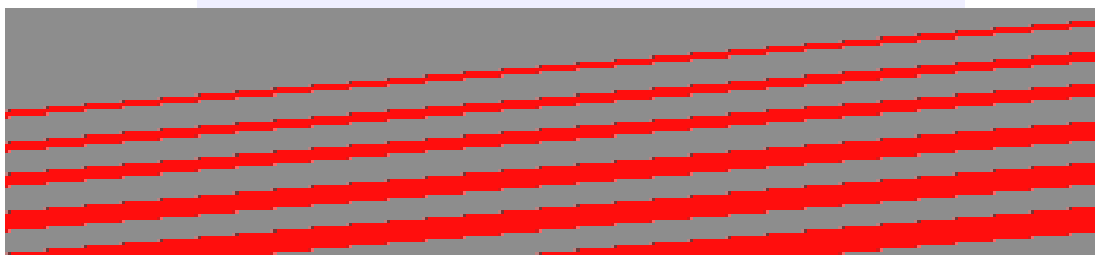
システムの基本構成



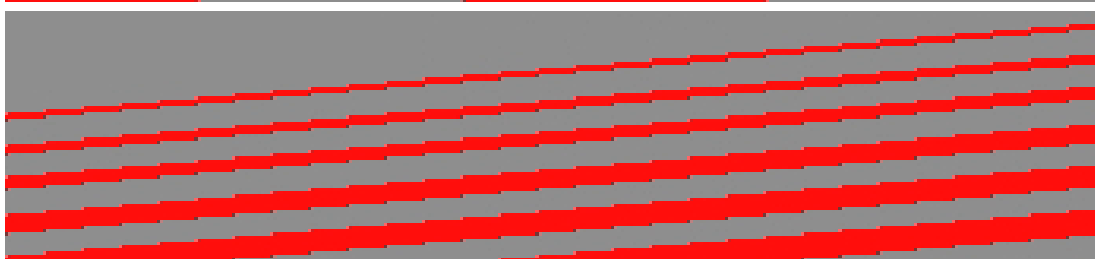
6-3 当社技術のご紹介(一部)

H.265/HEVC 4:2:2リアルタイム・デコーダプレーヤ を商品化

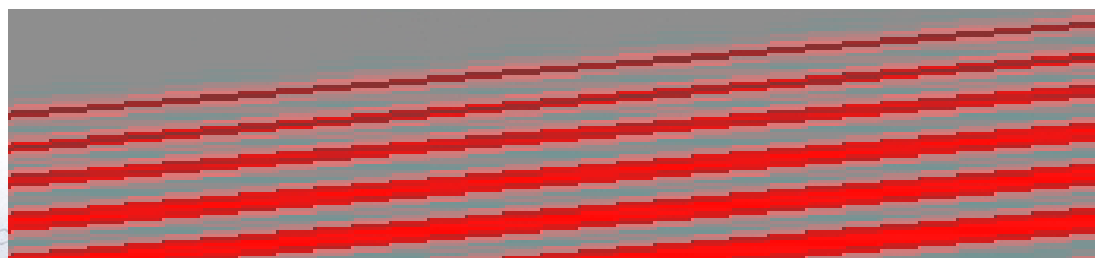
- Range Extension業務用規格
- ソフトウェア
- 4K画像 60フレーム/秒
- YUV4:2:2
- Main 10/12プロファイル



原 画



422
画像



420
画像

アルゴリズムの分野で 世界のスタンダードになる！

ご清聴ありがとうございました。

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性に関する責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いします。ここに示した意見は、本資料作成日現在の当社の意見を示すのみです。当社は、本資料中の情報を合理的な範囲で更新するようにしていますが、法令上の理由などにより、これをできない場合があります。

本資料および説明会内容についてのお問い合わせ先

株式会社テクノマセマティカル 経営企画部

TEL:03-3492-3633 E-mail:ir@tmath.co.jp